

町内の小中学校で入学式 新しい制服に身を包んで

4月6日、町内の小中学校で、入学式が行われ、98人の児童、107人の生徒たちが新1年生として、門をくぐりました。

鷹巣小学校では、39人の児童たちが入学。脇村洋一校長が「皆さんの入学を楽しみにしていました。これからは、お友だちと仲良くし、勉強や運動を頑張ってください。」と式辞を述べました。

同校には、本年度から旧本浦小学校区の子どもたちも通うこととなり、本年度の全校児童は239人となっています。



↑名前を呼ばれ大きな声で返事をする児童

転入教職員宣誓式 長島での決意新たに

町内の小・中学校に今春転入した学校職員の宣誓式が4月8日、役場指江庁舎大ホールでありました。参加した転入学校職員の27人は、本町の教育行政の基本方針を学び、決意を新たにしました。

式では、村田研史教育長が「子どもたちに自立していく力を身に付けさせるのが私たちの責任です。全ての職員と心をつにし、健康に留意してせいっぱい力を発揮してください」とあいさつ。平尾中学校に赴任した折田望^{のぞみ}養護教諭が「職務とその責任の特殊性を深く自覚し、誠実かつ公正に職務を執行します」と力強く宣誓しました。



↑参加した転入教職員

白瀬・本浦・葛輪の子どもたち スクールバスで学校へ

鷹巣小学校と本浦小学校が学校統合したことにより、本年度から、旧本浦小学校区の子どもたちは、スクールバスで通学することとなりました。

葛輪を午前7時10分に出発したバスは、本浦・白瀬を経由し、午前7時45分頃に鷹巣小学校へ到着。児童たちの下車後、今度はそのまま鷹巣中学校へ向かい、生徒たちを送りました。

4月7日から、運行開始となったこのスクールバスは、登校時1便、下校時3便で、児童・生徒たちを送迎しています。



↑鷹巣小学校前で下車する児童